

かこがわ国際交流

10

Kakogawa International Association Public Information

2021



なつまつり 8月22日開催

コロナ対策に注意したうえで、
音楽鑑賞・レクリエーションゲーム・
ビンゴゲームを行いました



外国人のための日本語個人指導 常時開催



語学講座 5月14日～9月17日開催

Contents

- 2 P 2021年度前期 国際交流事業紹介
- 3 P 東京オリンピック・パラリンピック特別企画
- 4・5 P 草の根国際功労賞受賞特集・ポケトーク（多言語 AI 翻訳機）を導入
- 6 P 2021年度後期

加古川市国際交流協会
Facebookに「いいね！」を
してください！



※事業の最新情報を投稿しています

2021 年度前期 国際交流事業紹介

4
月

外国人のための 日本語講座開講

4/8～



在住外国人の方が、日本での生活のために必要な日本語を学んでもらう目的で平成 6 年から開講しており、今年で 28 年目を迎えています。今年度は 4 月 8 日に開講したものの、5 月は新型コロナウイルス感染症拡大のため休講となり、6 月からは一部解除されたことにより時短で開講しました。日本語のレベル別に 3 クラスに分かれて、毎週木曜日の夜 7 時から 10 カ国 21 名の外国人が受講中です。受講生の皆さん方は、ボランティア講師の写真や絵カードを使った楽しい授業で毎回積極的に学んでいます。

5
月

語学講座

5/14～9/17



今年度の語学講座は「基礎から学ぶ英会話」と「基礎から学ぶ韓国語会話」の 2 講座を実施しました。全く勉強したことがない初心者の方や一から学び直したい方にご参加いただき、「基礎から学ぶ英会話」は 15 名、「基礎から学ぶ韓国語会話」は 9 名の方が受講されました。ベテラン講師による授業は毎回楽しく、教室は受講生の熱気であふれていました。



8
月

なつまつり

8/22



日本語を勉強している外国人とボランティア講師やその家族、国際交流に興味がある方、30 名が参加され、なつまつりを開催しました。今年度はコロナ対策に注意したうえで、音楽鑑賞・レクリエーションゲーム・ビンゴゲームを行いました。レクリエーションゲームでは景品をかけ、豆つかみゲームとジェスチャーゲームを行い、大いに盛り上がりました。なつまつりの様子はサンテレビの「はりまサタデー 9」で放送されました。



通年

外国人のための 日本語個人指導

常時開催



外国人のための日本語個人指導は年間を通して実施しています。外国人のための日本語講座に仕事などで参加できない人やもっと日本語を学びたいという人のために 1 対 1 のマンツーマン形式で行っており、ボランティアの先生と外国人学習者が時間や学習内容を相談し、週に 1 回、1 時間から 2 時間程度勉強をしています。特に土曜日・日曜日には、多くのペアがレッスンをされています。



特集

東京オリンピック・パラリンピック特別企画

ツバルのカラロ選手が事前合宿！ (7/9～7/21)

東京オリンピック陸上男子 100 メートルに出場するツバルのカラロ・ヘポイテロト・メイブカ選手が事前合宿を行いました。

7月 10 日にはカラロ選手が滞在していた少年自然の家と国際交流センターとツバルをオンラインで繋ぎ、加古川市長表敬訪問を行いました。

東京オリンピックに向けて加古川運動公園陸上競技場で1人で練習を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市民との直接の交流はできませんでしたが、オンラインで加古川中学校生徒との交流や応援メッセージの送付を行いました。

現在、国際交流センター3階展示室で、東京2020オリンピックの開会式入場行進でツバルの選手が着ていたユニフォームやツバルから贈呈された記念品等を展示しております。ぜひ、ご覧ください！



ブラジルシッティングバレーボールチームを応援 (9/3、9/30)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ブラジルチームの加古川市での事前合宿は中止となってしまいましたが、9月3日には加古川市と加古川市在住の子どもたちとブラジルをオンラインで繋ぎ、東京2020パラリンピックシッティングバレーボール女子準決勝（アメリカ戦）を応援しました。

結果は0-3で負けてしまいましたが、大いに盛り上がりました。その後、3位決定戦ではカナダに勝利し、見事2大会連続の銅メダルを獲得しました。また、9月30日にはブラジルに帰国された選手と加古川市内の小学生とのオンライン交流会が開かれ、パラリンピック参加の感想や応援体験等について交流しました。



ブラジルシッティングバレー女子準決勝共同応援

日本語指導ボランティアの 田中健司さんと藤原ひとみさんが 草の根国際功労賞を受賞されました

5月25日にひょうご国際交流団体連絡協議会総会がオンラインで開催され、当協会日本語指導ボランティアとして2007年から活動されている田中健司さんと藤原ひとみさんが「草の根国際功労者表彰」を受賞されました。



田中 健司さん 藤原 ひとみさん

田中健司さんと藤原ひとみさんに日本語指導ボランティアについて聞きました。

日本語指導を始められたきっかけは何ですか。

田中 健司さん

若い時から海外に行ったり、交流することが好きでした。加古川に住んで、仕事をしながら交流することが出来ないか探しているときに、外国人に日本語を教える養成講座を知って参加しました。養成講座が終了し、ボランティア登録をし、インドから来日した親子を紹介されて、「やさしい日本語」の教材を一緒に勉強するようになりました。カルタや習字を一緒にしたり、興味ある名所、施設などを紹介しながら始めました。



藤原 ひとみさん

退職し時間の余裕ができたので何か始めたいと思い、いろいろな講座を受講しました。広報かこがわに掲載されていた「日本語教育ボランティア養成講座」もその1つでした。外国人と接することにも興味があり、できるかどうかの不安もありましたが挑戦しました。



日本語指導ボランティアへの登録をお考えのみなさまへ

近年、外国人住民の数が年々増え、街ではよく外国人をみかけるようになりました。その様ななか、外国人にとっては言葉の壁が原因で、生活しにくいと感じる方も多いようです。

当協会では、日本で暮らす外国人が日本で不自由無く生活ができるようにすることを目的として「外国人のための日本語講座」と「外国人のための日本語個人指導」を実施しており、日本語指導において、多くの日本語指導ボランティアの方々にご協力いただいています。

「外国人のための日本語個人指導」は加古川市のボランティアポイント制度（ウェルビーポイント）の対象事業で、1回あたり50ポイントが付与されます。

日本語指導って実際何をやるの？

日本語指導というと少し堅苦しく聞こえるかもしれませんが、学習者によってニーズは様々です。プライベートレッスンでは、漢字の練習をしているペアや、本や新聞を読んでいるペア、世間話を通して会話の練習をしているペアもあります。ご自身が無理なくできそうなことから始めてみませんか。

いきなり登録するのは不安…

登録の前にレッスンの様子を見学していただくことができるので、ぜひご連絡ください。

プライベートレッスンをしていた中で、どんなときにやりがいを感じましたか。

田中 健司 さん

日本語を少しずつ覚えながら、日本での生活や仕事や学校に慣れていく姿を見ているとやはり一番やりがいを感じます。ブラジル人の中学生とのレッスンでは、初めは日本語をほとんど話したりできませんでしたが、日本語のテキストと学校の教科書、そして日記を書く練習をしました。クラブ活動や、スピーチコンテストをやりながら何とか高校の入試にもチャレンジしました。学校の生活に慣れることを一番の目標にし、休むこともほとんどなくクラブ活動（剣道）なども取り組んでいました。試合は、初めは負けてばかりでしたが、初めて勝ったときは本当にうれしかったです。4年足らずでブラジルに帰りましたが、最後は日本語検定や英語の検定試験にも合格して、明るいうちにも帰りました。やはり日本の生活に慣れてもらい、楽しく家族で生活してもらえることがうれしいです。

藤原 ひとみ さん

日本語検定の合格を目指して勉強していた学習者が目標の級に合格してくれることはやりがいがあります。検定結果がすべてではありませんが、帰国後に日本語を生かし日本語教師や日本の会社に就職し、生活が豊かになり目標達成のサポートができることはやりがいの1つです。また日本語指導をしていた学習者が帰国後日本語の教師となり、その教え子が国際交流センターに日本語を勉強しに来ているということを知ったときは嬉しかったです。



これからボランティアを志す方へ一言お願いいたします。

田中 健司 さん

教えるという姿勢ではなく、共に学ぶ気持ちが大変大切だと思います。日本語だけでなく、私自身日本の歴史や、文化を勉強しなおすように心がけています。授業では、やはり準備と計画が大切だと思います。3か月ごとに目標と教案の作成を準備するようにしています。リモートやインターネットを使っていろいろな教材があるので、相手と自分が興味あることを楽しくやっていける時代だと思います。

藤原 ひとみ さん

「困った時はお互いさま」の精神です。日本語の分からない外国人に少しでも日本での生活がスムーズにいけるように支援ができればと願っています。難しく考えないで、自分や子どもが外国に住んだら、逆の立場になったらと想像してみてください。「教える」のではなく「一緒に学ぶ」。学習者から学ぶことはたくさんあります。「ありがとう」との言葉で元気が出ます。難しく考えないで一歩踏み出し始めてください。

加古川市にポケットーク（多言語AI翻訳機）を導入

加古川市には、現在約50カ国、約3,000人の外国人の方が居住されています。そのため加古川市では今年度、施策推進の基本計画となる多文化共生社会推進指針（仮称）の策定を予定しており、その指針の柱の中に、市民生活と密接に関わる窓口において多言語での対応を実施することが検討されています。指針の策定に先立ち、多言語対応の必要性が高い窓口に設置できるようにポケットーク（多言語AI翻訳機）を導入することになりました。



お知らせ Information

2021 年度後期実施予定のイベント・講座情報

※今後の新型コロナウイルスの動向により、予定が変更になる可能性があります。

■国際協力理解セミナー 10月2日(土) 14:00～16:00

講演者：JICA 海外協力隊のOBの方々

■日本語教育ボランティア養成講座初級Ⅱ 10月9日(土)～12月4日(土)

講師：中川 祐香氏、新 聖子氏

対象：18歳以上で教え方の基礎がある程度分かる方(初級Ⅰを受講等)

内容：外国人への日本語指導のスキルアップを目指す



■ふれあい国際料理講座 10月31日(日) 10:00～13:00

講師：楊 麗艶氏

対象：4組(抽選) ※同居家族2～5人に限る。

内容：中国料理 珍珠丸子(もち米団子の蒸しもの)、干焼 虾仁(エビチリ)

場所：青少年女性センター 3階調理実習室

■はじめての国際交流 11月7日(日) 10:00～12:00

対象：小・中学生以下と保護者 ※小学3年生以下は保護者同伴 80名(入場無料)

内容：アメリカ・オーストラリア・中国・韓国出身の兵庫県国際交流員との交流

場所：青少年女性センター 4階大会議室



■やさしい日本語講座(会話編) 11月28日(日) 10:00～12:00

対象：18歳以上の人 先着50名(入場無料)

講師：福井 武司氏

内容：外国人に伝わるわかりやすい日本語の使い方を学ぶ

場所：青少年女性センター 4階大会議室



■国際交流「ふゆまつり」 12月12日(日)



■日本語教育ボランティア養成講座初級Ⅰ 12月26日(日)～2月27日(日)

対象：18歳以上の人

講師：五味 たまき氏、瀬古 悦世氏

内容：外国人に日本語指導をするボランティアの養成

■外国人による日本語スピーチ発表会 3月13日(日)

賛助会員募集

協会では毎年、国際交流活動や外国人の受け入れ事業の実施など、協会の活動をご支援くださる賛助会員を募集しています。会費は事業費の一部として活用させていただきます。

●年会費

個人 1口 2,000円
団体 1口 5,000円
法人 1口 10,000円

●申込書

協会事務所・市役所案内などにあります。詳しくは協会まで。

※会員には、各種事業の紹介、指定旅行社の優待割引、事業参加費の割引などの特典があります。



公益財団法人 加古川市国際交流協会

〒675-0017 加古川市野口町良野 387-1

TEL: 079-425-1166 FAX: 079-425-0200

ホームページアドレス: <http://kakogawa-kia.or.jp>

E-mail: info@kakogawa-kia.or.jp

協会公式 SNS をチェック!

ホームページ



Twitter



Facebook

